
夜桜

神野 桜

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜桜

【Nコード】

N4772P

【作者名】

神野 桜

【あらすじ】

恋愛を中心に短い詩を掲載してます。

『ぴえろ』

もしもし」 受話器の向こうの君の声

今にも 泣きだしそうな声

「ただ 声が聞きたかった」

そいうけれど わかっている

悲しくて つらくて

どうしようもなくて かけてきたこと

「どうしたの？」 としか言えない

一体 どんな言葉をかければ

君を救うことができる？

ただ ありきたりな会話をかわすだけ

君はボクに何を望むの？

君のつらさが 伝わってくるけれど

ボクには 何もできない

そんな自分かもしかしくて くやしい

できることならば 君のつらなを

一つ残らす ボクが受け取りたい

しかし それはできない

だから ボクは道化師ヒエロになる

君を笑顔にする 君だけの”ぴえろ”になる

『天使の羽根』

ねえ 知ってる？

天使って 本当にいるんだよ

目には見えないけれど

ボクらを 空から見守っているんだよ

なんとなく 心が落ち着く時

そんな時は 天使が空から降りてきて

その羽根でそっと 包んでくれているんだよ

傷ついた心 疲れ切った心 元気がない心を
そっと優しく包んでくれているんだよ

非力なボクの羽根は

きつと小さくボロボロだと思っけれど

君が穏やかに笑えるように

君の傷ついた心が癒されるように

いつもで優しく包みこむ

そんな天使になりたい

『恋心』

僕には居場所なんてなかった
ひろりっぽちだと思っていた

あの雪の降る公園で
君とふたりで肩をよせて 温めあつた夜

小さな君の優しさが、ぬくもりが僕の心を溶かしてくれた
僕の居場所を教えてくれた
君のそばが僕の居場所だと

いつしか君は僕にとってとくべつな女の子になっていた
成長していくにつれ、君への想いは大きくなった
この気持ちを伝えることはない
でも ずっとそばにいて君を守る
君の幸せを願って

この恋心を隠すかわるに誓った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4772p/>

夜桜

2010年12月25日18時07分発行